

むづみ

第51号 2005. 1



福島県土地改良団体職員連絡協議会

目 次

新年のご挨拶	福島県土地改良団体職員連絡協議会	1	抱 負	水土里ネット福島		
新年のご挨拶	福島県土地改良事業団体連合会	2	5歳を迎えて	水土里ネット福島		
(水土里ネット福島)						
専務理事 高橋豊吉	会長棚木均	3	韓国を旅して	社川沿岸土地改良区		
				緑川源治		
第二十七回全国土地改良大会		8	「二十年間を振り返って」	柳津町土地改良区		
				小島貞彦		
支部だより		10	「今、自分ができることは…」	水土里ネット福島		
				高野久夫		
永年勤続	年男年女			三和土地改良区		
「誰が勝手にやったの!!」	大島初子			大島初子		
農業・農村の中の土地改良区						
私の野球観戦記	遊佐ゆきえ	14	雜感			
二十年を迎えて	加藤よね子	15				
三十年を振り返つて	鈴木登	16				
	猪狩加代子	17				
水土里ネット福島						
本多利勝						

表紙写真

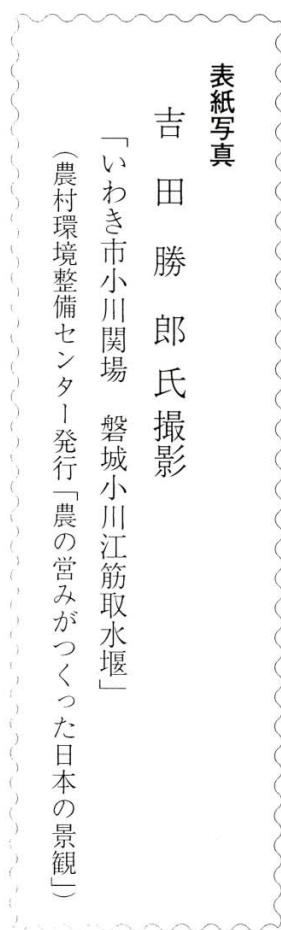
吉田勝郎氏撮影

「いわき市小川閑場 磐城小川江筋取水堰」

(農村環境整備センター発行「農の営みがつくった日本の景観」)



本文は古紙配合率100%、
白色度70%の再生紙を使用
しています。



新年のご挨拶



福島県土地改良団体職員連絡協議会

会長 棚木 均

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはご健勝にて新年をお迎えになられた事と存じお慶び申し上げます。

さて、昨年は数多くの台風が日本列島に上陸し各地に甚大な被害を与え、更には中越地震が発生し多くの方々が被災されました。テ

レビ、新聞等の報道による被災状況等を知るにつれ、改めて自然の猛威を実感させられ自然の前に人間の微力さを思い知らされたところです。

あの状況を見るにつけ、どうしても農家の視点で見てしまいます。寸断された道路、水路、地割れした水田、崩れた畦畔、干上がった溜め池、更に倒壊した家屋、のような状態で今後、稻作が出来るのか農家として存続して行く事が出来るのか?この様な事が我々の地域で発生したらどの様な対応が出来るのか、何をしなければならないかを考えておかなければならぬと思つておこなっているところであります。

福島県に於いても二〇〇億という大きな被害を受けております。

農林水産関係の被害額五七億、うち農地関連被害額は二五億であります。何とか関係機関のご努力により早期復旧が見込まれておりますので、安心しているところであります。益々寒くなる冬を迎えて仮設住宅等で生活されておられる被災地の皆様方に心から御見舞を申し上げ、早期復興を願うものであります。

又、昨年は参議院議員、県知事の選挙という大きな選挙がありました。参議院議員として佐藤昭郎氏、県知事として佐藤栄佐久氏が見事にご当選され、これも会員皆様方の絶大なご支援の賜と厚く御礼を申し上げます。

今、我国の農業は「米政策改革」により大きく動いております。これは、端的に申しますと生産者が自己責任に於いて処理をしない、国では責任は持ちませんという事になるかと思います。

この様な中に於いて、食の安全・安心という事が叫ばれております。

土地改良事業によつて造成された土地と貯えられた豊かな水を充分に利用し、活用する事が出来れば消費者の求める安全・安心な食料の供給が可能となり、生産者、消費者間の信頼関係が出来る事に思ひます。

農家、組合員あつての土地改良区であり、職員連絡協議会であります。会員一致団結して日本農業発展のため、頑張つて参りたいと思います。(三位一体改革、何するものぞ!土地改良事業頑張れ!!)

本年が皆様にとりまして、素晴らしい年である事をご祈念申し上げご挨拶と致します。

新年のご挨拶



水土里ネット福島

(福島県土地改良事業団体連合会)

専務理事 高橋 豊吉

福島県土地改良団体職員連絡協議会会員の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、ご健闘で輝かしい新年を迎えたことと心からお慶び申し上げます。

水土里ネット福島の業務運営及び農業農村整備事業の推進につきましては、日ごろより特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、昨年は、例年ない十個の台風の来襲により、水害などが発生し、更には「新潟県中越地震」の発生により、尊い人命が失われるなど、甚大な被害を蒙ったところであります。

水土里ネット福島では、新潟県土地連の要請を受け、農地災害の復旧のため職員六名を派遣し支援を行つたところであります。被災されました方々に対しましては、衷心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年十二月二十四日に、平成十七年度の政府予算案が閣議

決定されましたが、農業農村整備事業関係予算は、対前年度比九五・三%の七、九五五億円余（省庁連携強化に係る交付金化措置額二〇〇億円含む）となつております。四年連続の緊縮型となる厳しい内容となつております。

しかしながら、農業・農村は、食料の安定供給基地としての役割のほかに、自然美豊かな国土を形成し、水源のかん養に加え水害を未然に防止する国土保全機能など、多面的機能を有する重要な地域であります。

そのため、多面的機能の發揮に向けて、農業農村整備事業を計画的かつ着実に実施することが必要であります。

水土里ネット福島といたしましても、関係機関と連携し当事業の推進に寄与して参りたいと考えております。

また、水土里ネット福島では、循環型農業の実現のため、昨年十二月に、会津高田町の協力を得て、堆肥化実験施設を建設し、今年一月から実証実験を行うこととしております。

この施設は、家庭から排出される生ゴミや、畜産廃棄物、モミ殻などを堆肥化して、農地に還元することにより、従来、これら廃棄物を焼却処分していた費用軽減と併せて、有機性資源を利活用した持続性の高い資源循環型農業の実現に寄与できるものと思っております。

今後とも、水土里ネット福島に対しまして従来同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、貴協議会の益々のご発展と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げまして新年の挨拶いたします。

第一十八回 總會

福島県土地改良団体職員連絡協議会第二十八回総会は、平成十六年七月十五日(木)午後一時三〇分より相馬市のホテル飛天において開催されました。



棚木会長あいさつ

石神副会長（東根堰土地改良区）の開会宣言、棚木会長（会津北部土地改良区）の挨拶のあと、永年勲続表彰が行われ、表彰状と記念品が贈られました。表彰されましたが方々は別表のとおりです。受賞



相双農林事務所 宮戸部長

川堰の大井川和
弘氏が選出され、
挨拶後議事に入
りました。



水土里ネット鮫川堰 若松理事長

「平成十五年度事業報告について」、議案第一号「平成十五年度収支決算承認について」が二括議題として出務局の説明、監査結果報告の後おり承認されま



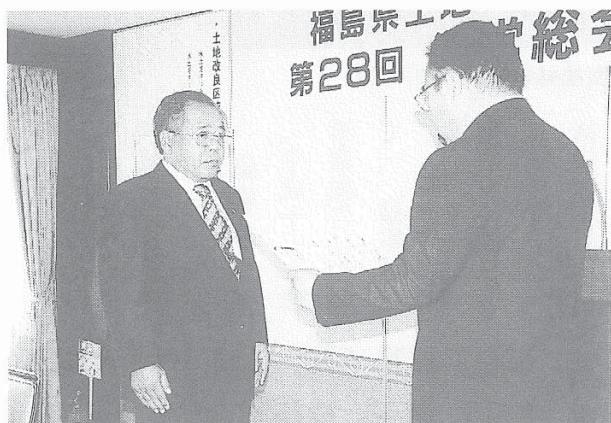
水土里ネット福島 亮橋車務理事

成十七年度収支予算（案）について」、は事務局の説明の後、いずれも原案どおり承認されました。

永年勤続表彰

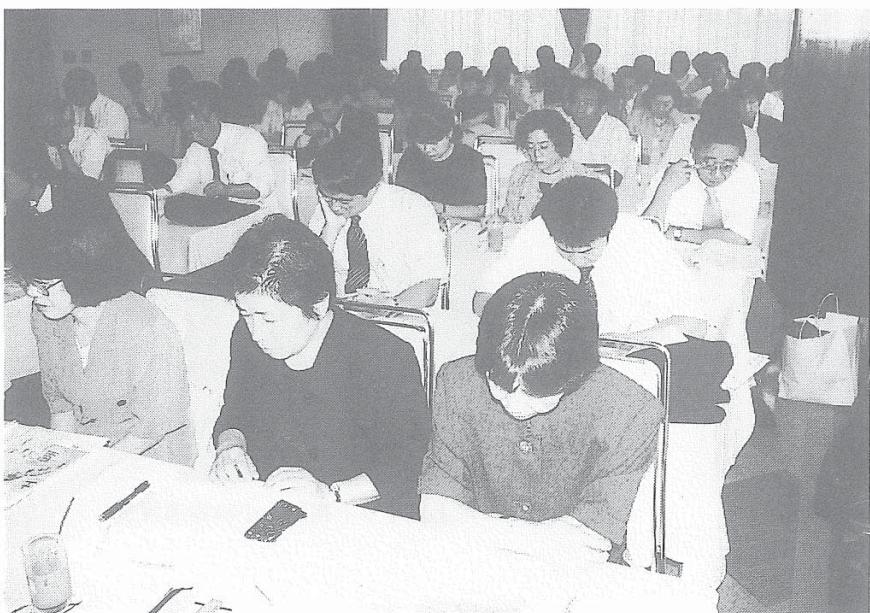
(順不同・敬称略)

二十年勤続		三十年勤続		所属団体名		氏名	
				安積疏水土地改良区	白河市土地改良区	伊東豊美	大竹きよ子
福島県土地改良事業団体連合会	遠野土地改良区	磐梯西部土地改良区	安積疏水土地改良区	福島県土地改良事業団体連合会	福島県土地改良事業団体連合会	阿賀川土地改良区	会津東部土地改良区
松浦孝義	猪狩加代子	加藤よね子	小林信一	松遊ゆきえ	本多利勝	渡千加子	大竹きよ子
						加藤三代子	安達裕子
						大竹きよ子	登



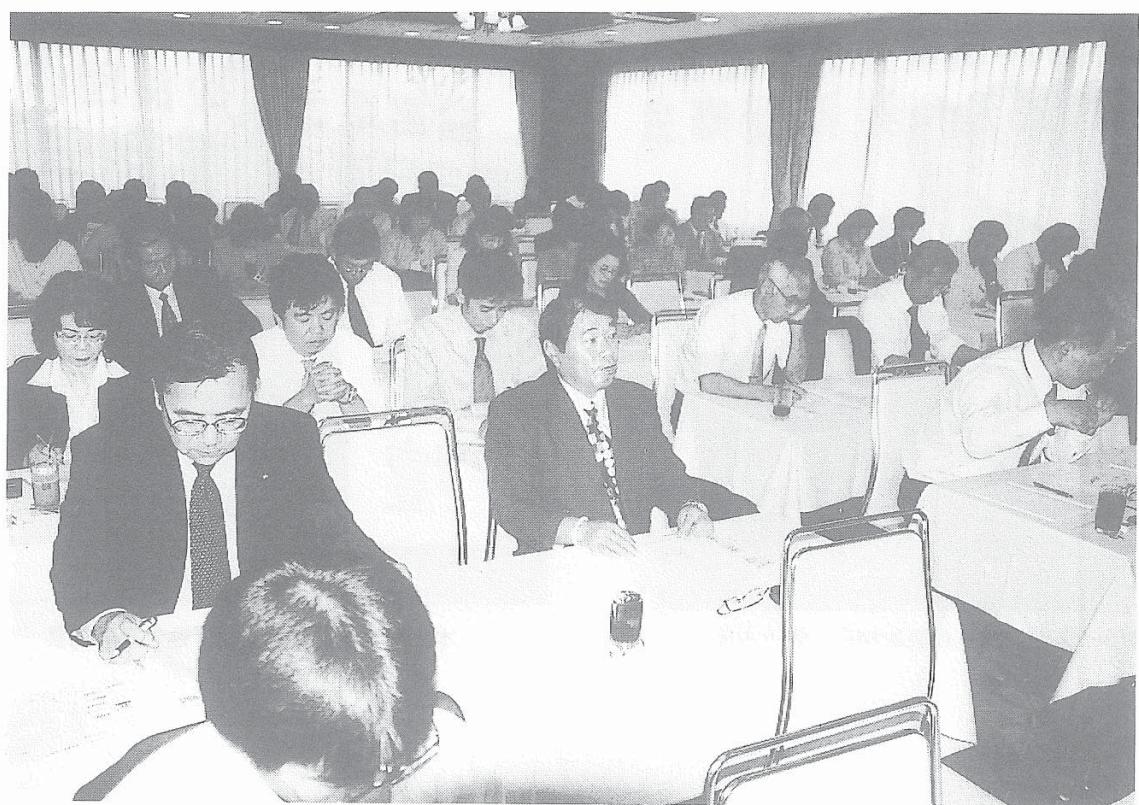
十年勤続		所属団体名		氏名	
		愛谷堰土地改良区	請戸川土地改良区	安積疏水土地改良区	大玉土地改良区
福島県土地改良事業団体連合会	福島県土地改良事業団体連合会	福島県土地改良事業団体連合会	福島県土地改良事業団体連合会	福島県土地改良事業団体連合会	福島県土地改良事業団体連合会
富田秀樹	永澤拓矢	杉内貴紀	諸隈敏郎	菅波孝光	堀内博明

職員業務研修会



研修風景

総会終了後、業務研修会が行われました。
水土里ネット福島小林指導課長より「21世紀創造運動」、「消費税の改正について」、そうま土地改良区遠藤総務課長、会津大川土地改良区佐竹事務局長より「土地改良区統合について」、有限会社高ライスセンター佐々木代表取締役より「水田農業再編と法人化」について講演をいただきました。
現地研修は相馬共同火力発電所を見学しました。



研修風景



水土里ネットそうま 遠藤総務課長



水土里ネット福島 小林指導課長



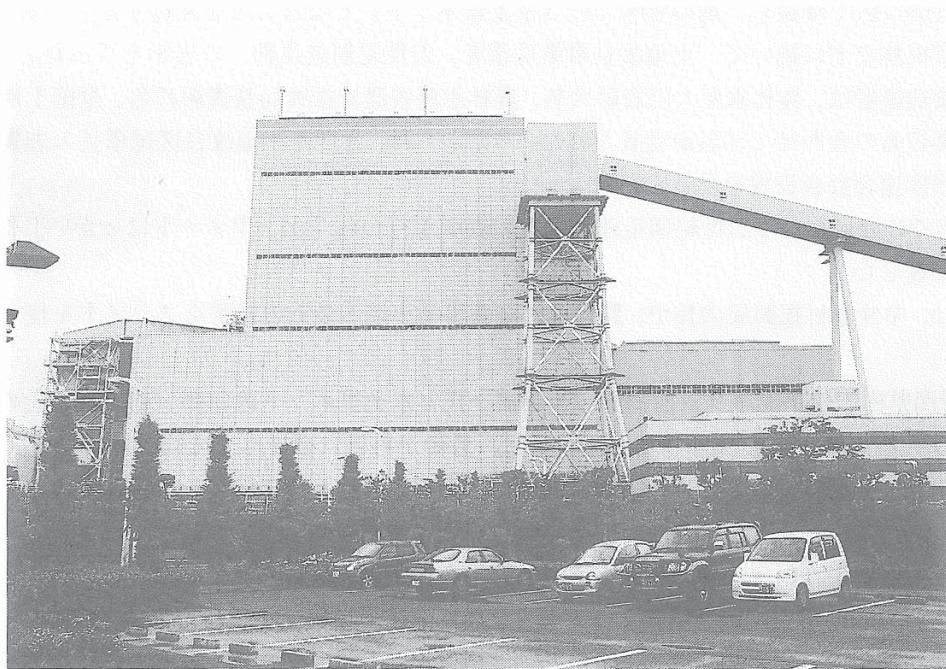
(有)高ライスセンター代表取締役 佐々木氏



水土里ネット会津大川 佐竹事務局長



現地研修



現地研修

第27回

全国土地改良大会～新潟県大会～

第27回全国土地改良大会は、平成16年10月5日午後1時より新潟市・朱鷺メッセ「ウェーブマーケット」において「トキめく未来、水土里のふるさと」のテーマに、4,300名の土地改良関係者が参加し盛大に開催された。

本県からは、土地改良区役員、福島県職員、土地連役職員等60名が参加した。

今大会は、農業農村整備事業の重要性はもちろん、地域資源管理者である「水土里ネット」の役割を広く国民にアピールするとともに、関係者の更なる意識高揚を図った。

式典では、水土里ネット新潟・磯部忠三郎会長が、開催県を代表し「太古の昔から食料・農業をおろそかにした国は世界中どこを見ても発展したためではない。時代が変化しても大切な農地を立派に整備し、次世代に引き継いでいくのが、我々土地改良に携わる者の責務」と挨拶した。続いて主催者を代表して全国水土里ネット・野中会長が挨拶。「水・土・里という国を支える地域資源を守り、育み、次の世代に引き継ぐべく、21世紀土地改良区創造運動は、皆で決意を新たにし、実行していく運動。全国に広く浸透し、眞の意味での『水土里ネット』となることを期待する」と述べた。

このあと来賓祝辞などに続いて、土地改良事業功績者、21世紀創造運動の表彰を行った。

土地改良事業功績者は、農林水産大臣表彰六名、農林水産省農村振興局長表彰17名、全国土地改良事業団体連合会会长表彰47名の合わせて70名が受賞された。本県からは、大熊町土地改良区理事長の志賀秀朗氏が全国土地改良事業団体連合会会长賞を受賞した。

続いて、今年で2回目となる21世紀創造運動大賞の表彰が行われ「水土里ネットほっかい」他、8団体の水土里ネットが受賞した。

基調報告では、中條農村振興局次長が、農業農村整備事業を巡る最近の情勢をスライドを使いわかりやすく報告した。

引き続き、新潟県内の水土里ネット西蒲原・後藤慎一氏と水土里ネット亀田郷・越山直子氏の男女2名により「朱鷺が再び大空を舞うような自然豊かな環境と、若者が将来に夢をもてる農業とがハーモニーを奏でる『トキめく未来、水土里のふるさと』の実現に向けて、我々の熱意と技を結集して邁進すること」と大会宣言を行った。

さらに、大会主催者より緊急決議の提案があり、野中会長が現在進められている三位一体の改革において、農業農村整備事業の補助事業制度を継続することと、農村地域の振興に必要な施策は、国において実施することを現在の政府に要請する内容の説明があり、その決議案に対して、2名が、賛成の意見を述べて満場の拍手により緊急決議が承認された。

併催行事として新潟県の水土里ネットコーナーやにいがたの農業農村整備のパネルが展示された。このほか今年のふるさとの田んぼと水子ども絵画展なども行われ、大会を盛り上げた。

なお、第28回全国土地改良大会は、山形県で開催することとなり全国水土里ネット・野中会長から水土里ネットやまがたの岡崎会長に大会旗が引き継がれ挨拶をのべた。

最後に、水土里ネット新潟・徳茂徳一副会長が閉会の挨拶をし、無事大会が終了した。



トキめく未来、水土里のふるさと

大 会 宣 言

今、私たちの眼前に広がる肥沃な新潟平野をはじめ、日本の国土は、有史以来の先達のたゆみない労苦を礎として、一步一步築きあげられてきた。

私たちは、こうした歩みに合わせ、自然を活かしこれと共に存し、農地や水という資源を巧みに有効活用することで、農を営み、地域を作り守ってきた。

近年、近代化や効率化、技術革新により、私たちの生活や産業が飛躍的な進歩を遂げたのも、この蓄積の上有る。

先の中越地方の洪水において、先達の努力の賜である幾多の農業水利施設を生かし、多くの仲間が、命の危険にさらされながらも、昼夜を通して奮闘し、地域を守り抜いたことは、その証左ともいえるだろう。

農業・農村そのものも大きな変化を迎えており、力強い農業経営や集落営農の成長がある一方、離農農家の増加や高齢化、都市化・混住化の進展などもあり、私たちが引き継いだ大切な財産を万全に生かし、守っていく上での新たな課題となっている。

新世紀に入った今、私たちは、足元から、我が国の農や食、地域社会、国土のあり方を見つめ直す必要に迫られているのではないだろうか。

現在、国全体の農業政策や経済財政構造の改革に向けて、食料・農業・農村基本計画の見直しや三位一体改革に関連した補助金等のあり方が検討されるなど、国民の生活を支える農業・農村の地域資源を保全してゆく上で、将来を左右するような大きな議論が行われている。

我々は、これらを、日本の未来を形作ってゆく重大な課題ととらえ、国民全体で今後の國のあり方を考え、地に足をつけて議論していくことが重要と考える。

どのような時代でも、国民の生活を支える「水」「土」「里」という農村の地域資源を守り、育み、次世代に引き継いでいくことの責務の重さは変わることがない。

今こそ、これらの役割を担う私たちが、地域住民や関係団体と共に将来の日本を考え、21世紀土地改良区創造運動などを通じて、それぞれの現場から積極的に発信し、行動してゆこうではありませんか。

このような思いを一つにしつつ、「朱鷺が再び大空を舞うような自然豊かな環境と、若者が将来に夢をもてる農業とがハーモニーを奏でる「トキめく未来、水土里のふるさと」の実現に向けて、我々の熱意と技を結集して邁進すること」を、ここ新潟の地において、高らかに宣言する。

平成16年10月5日
第27回全国土地改良大会



全国大会風景

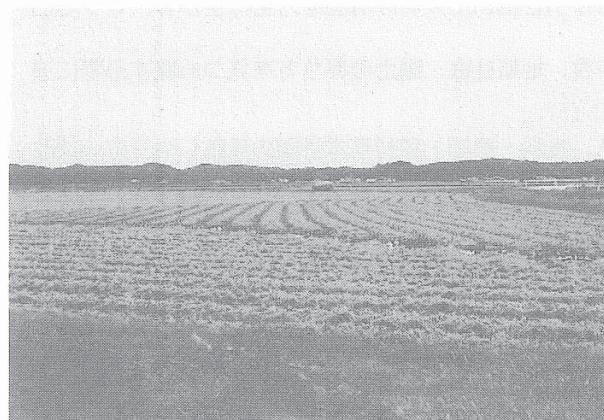
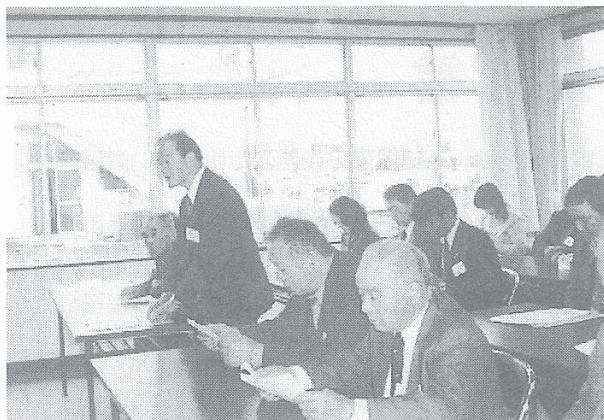


志賀秀朗氏
大熊町土地改良区理事長



☆全国土地改良事業団体連合会会長表彰

支 部 だ より



県 中 支 部
吾 妻 瓶 真 正 敏

あけましておめでとうございます。

新年早々の支部だよりは県中支部が実施しました、農業農村整備事業研修の情報を、ご報告いたします。

十月二十日に宮城県登米郡南方町の迫川沿岸土地改良区、翌二十一日は宮城県志田郡松山町の志田郡桑折

江土地改良区を訪問し研修いたしま
た。追川沿岸土地改良区は、反復利用で揚水している箇所での水質の低下が懸念され、東北大学大学院工学研究科の西村修教授、千葉信男技官の指導のもと、植生等を利用した水質の浄化を模索した水質浄化実験。

また、集落排水処理水を各実験プラントに注入し、水質浄化作用の検証。

した。

迫川沿岸土地改良区は、反復利用で揚水している箇所での水質の低下が懸念され、東北大学大学院工学研究科の西村修教授、千葉信男技官の指導のもと、植生等を利用した水質の浄化を模索した水質浄化実験。

翌日は志田郡桑折江土地改良区のスレーパー大区画ほ場と、転作用作物の導入による未来型農業への挑戦をしている五輪崎地区を見学させていただきました。

(参考) スレーパー大区画ほ場
A ≈ 5.3 ha / 枚

ほ場の立地条件を考慮し、区画の大規模化に伴い用排水施設の集中化、農道ターンなどの新技術や大型の機械化営農体系の導入を想定し、近未来型の大区画ほ場のあり方についてハード・ソフト両面から関係団体と

用水期間終了後は特に水が赤茶けて見えるが、これは暗渠排水している水に含まれる鉄分が原因ですが、農作物にとつて鉄分は欠かせない栄養素の一つです。そこで、カキ殻・ロックウールを排水路に設置し、鉄分を付着させ除去する方法で透明度が増すように試みている等の実験検証を行ってきました。

翌日は志田郡桑折江土地改良区のスレーパー大区画ほ場と、転作用作物の導入による未来型農業への挑戦をしている五輪崎地区を見学させていただきました。

また、営農推進活動では従来の麦用集積の成果など関係権利者の意向は圃場整備の換地処分において、農用地等の集団化や担い手農家への利用構造政策に寄与した優良地区を表彰するものです。

当表彰制度は昭和三十年より行われているもので、交換分合事業までは圃場整備の換地処分において、農用地等の集団化や担い手農家への利

一體となり実施した地区です。

なお、この地区は実績が優秀と認められ、平成十四年度農用地集団化事業表彰式において、東北農政局長より表彰されております。

県 南 支 部
北 澤 智 恵

土地連にお世話になつてから、早いものでもうすぐ二年になります。常に周りの方々に助けられながら、日々奮闘中の県南支部担当北澤です。昨年の県南方部職員連絡協議会の

研修は、社川沿岸土地改良区の山寺事務局長さんに講師になつて頂き盛会裡に終わることが出来ました。

その研修内で各土地改良区さんとも共通の問題といったとして、「賦課金の未納」に関する活発な意見交換が繰り広げられました。

そこで、今年度の事務局長連絡協議会の研修は、「滞納処分について」をメインといたしまして、新聞でも取り上げられ珍しいケースの滞納処分を行った会津坂下町にある阿賀川土地改良区さんをお訪ねいたしました。

滞納処分に至るまでには、大変なご苦労や諸問題が数々おありのようでした。そのため、役員の方お一人おひとりが自ら執行者であるという、自覚のものに度重なる勉強会を開催し、理解を深めておられました。その勉強熱心な姿には誠に敬服するものがありました。お話を伺いました。

おひとりが自ら執行者であるという、自覚のものに度重なる勉強会を開催し、理解を深めておられました。その勉強熱心な姿には誠に敬服するものがありました。お話を伺いました。

その他、「21世紀型水田農業モデルほ場整備促進事業」といたしまして、一集落一農場を実現した谷地生産組合の基盤整備の経過と経営形態への推移について、組合長様にお話を伺いました。

また、「21世紀土地改良区創造運動への取り組み」といたしまして、花いっぱい運動を通して、21世紀土地改良区創造運動を展開中の高郷村大田賀地区を訪問させて頂きました。



水土里ネット会津支部の永嶋さんは、地域貢献のため遊休農地（畠地）を借り、『地域憩いの場、交流の場』を目指し、がんばっておられました。

二日目は、郡山市にある安積疏水土地改良区さんにて、「業務運営及び維持管理について」勉強させていたしました。積極的な質疑や意見交換が行われました。

この研修を行うに際しまして、ご協力いただきました方々にこの場をお借りいたしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

この研修を行うに際しまして、ご協力いただきました方々にこの場をお借りいたしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

そんな時、翌朝気分がすつきりしている時に、話したり聞いたりすれば何でもないようなことでも、クヨクヨして、自分自身に自信喪失したようにも思えたりすることがある。体が不調な時、どこかが痛い時、だるい時、心はふさぎ込んでくる。体の緊張は、肩がこり、関節がこわばり、スムーズに歩けなくなってしまうこともある。機械的な動きや、不自然な動きで、体に鎧を着たような感覚ばかりではなく、心にまで鎧を着せてしまうような、そんな気持ちになることがある。

体の健康は気になつても、心の健康には関心が薄いようにも思える。心という扉を上手に開け閉めして、喜びや感動はいろいろな出会いによって、満たされると思います。

マイナスの要素が入り込まないようにしていかなければならぬ。ストレスを感じている時は、首から肩にかけての緊張が最も強くなつて、すべてに自信がないように、体

は、地域貢献のため遊休農地（畠地）を借り、『地域憩いの場、交流の場』を目指し、がんばっておられました。

二日目は、郡山市にある安積疏水土地改良区さんにて、「業務運営及び維持管理について」勉強させていたしました。積極的な質疑や意見交換が行われました。

この研修を行うに際しまして、ご協力いただきました方々にこの場をお借りいたしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

そんな時、翌朝気分がすつきりしている時に、話したり聞いたりすれば何でもないようなことでも、クヨクヨして、自分自身に自信喪失したようにも思えたりすることがある。体が不調な時、どこかが痛い時、だるい時、心はふさぎ込んでくる。体の緊張は、肩がこり、関節がこわばり、スムーズに歩けなくなつてしまふこともある。機械的な動きや、不自然な動きで、体に鎧を着たような感覚ばかりではなく、心にまで鎧を着せてしまうような、そんな気持ちになることがある。

体の健康は気になつても、心の健康には関心が薄いようにも思える。心という扉を上手に開け閉めして、喜びや感動はいろいろな出会いによって、満たされると思います。

マイナスの要素が入り込まないようにしていかなければならぬ。ストレスを感じている時は、首から肩にかけての緊張が最も強くなつて、すべてに自信がないように、体

会津支部 永嶋千代子

随想 「肩の力を抜くことから始めてみませんか。」

毎日の生活の中で、体がとても疲れている時、些細なことにもすぐイライラしたり、怒つたりしてしまうことはありませんか？。

そんな時、翌朝気分がすつきりしている時に、話したり聞いたりすれば何でもないようなことでも、クヨクヨして、自分自身に自信喪失したようにも思えたりすることがある。体が不調な時、どこかが痛い時、だるい時、心はふさぎ込んでくる。体の緊張は、肩がこり、関節がこわばり、スムーズに歩けなくなつてしまふこともある。機械的な動きや、不自然な動きで、体に鎧を着たような感覚ばかりではなく、心にまで鎧を着せてしまうような、そんな気持ちになることがある。

体の健康は気になつても、心の健康には関心が薄いようにも思える。心という扉を上手に開け閉めして、喜びや感動はいろいろな出会いによって、満たされると思います。

マイナスの要素が入り込まないようにしていかなければならぬ。ストレスを感じている時は、首から肩にかけての緊張が最も強くなつて、すべてに自信がないように、体

にも表れてくる。

気持の持ちようでストレスは消せるようにも思う。

そんな時、肩の力を抜いてリラックスすることが、とても大切なことがあります。

私たちの心は、理性で納得しても、感情が思うようにならない場合があります。できるだけいつも楽しく思考して、身の廻りのできごとを肯定的に、前向きに捕らえていけば、ストレスは減っていくと思う。

心がコントロールされて、安定した状態になれば、体が落ち着き、発想も豊かになり、物事にも適切に対処できるようになつていくと思います。動することのない自信が湧いて、心身一如の境地】と言えるのではないでしょうか？？。

自分には、「できない」・「素質がない」と言って、芽を摘んでしまわないで、ちょっと、肩の力を抜いて新しい自分を《再発見してみて》はいかがでしようか？？。

双相支部 杉内ひろみ

相双支部では、平成十六年十月二十七日～二十八日に相双地方農業土木促進協議会との共催によります農業農村整備事業に関する先進地視察研修を、管内会員の役職員等二十五名参加にて実施致しました。

今年度は、栃木県の農業農村整備事業についてということで、

① 河内農業振興事務所管内

「西鬼怒川地区」（河内町）

県営農村自然環境整備事業
生態系保全型水田整備推進事業
宇都宮市農林公園
「ろまんちっく村」（宇都宮市）
農業農村活性化農業構造改善事業（地域活力促進農業構造改善事業）
地域農業基盤確立農業構造改善事業（農村資源活用農業構造改善事業）
「西鬼怒川地区」につきましては、
水と緑のネットワーク現状、生態系の保全対策の方法について、どじょう水路、多自然型護岸、粗石付片斜面式魚道、西下ヶ橋えのき公園、植栽観察路、カエルの移動経路の確

保等といった農業水路や農道の現地状況視察及びグラウンドワーク活動内容等活動センター内で説明後、質疑応答が行われました。住民参加の維持管理活動をしている「西鬼怒川の川に親しむ会」は、平成十五年度田園自然再生活動コンクールにおいて「農村振興局長賞」を受賞しております。現在NPO法人化を検討中だそうです。当支部管内においては、ほ場整備地区内に希少動植物が確認され事業が停滞している状況にありますので、その事業を推進するため今後役立つことと思われます。

「ろまんちっく村」につきましては、農林業の役割の変化に対応した新しい農林業の展開と地域の活性化を図り、合わせて市民の余暇活動の充実に資する整備事業について、交流ゾーンであるろまんちっく広場、フローラードーム、温泉館、地ビール醸造所、宇都宮物産館、青空市・花き販売所等、また体験ゾーンであるクラインガルテン、学習農園・ハーブ農園、体験センター、堆肥プラント等場内視察説明、フローラードーム内の概要説明後、事前に用意しておいた質疑事項にも回答頂きました。お天気も良く入場無料とあって平日にもかかわらず入場者も数多く見られ、

相双支部では、平成十六年十月二十七日～二十八日に相双地方農業土木促進協議会との共催によります農業農村整備事業に関する先進地視察研修を、管内会員の役職員等二十五名参加にて実施致しました。

今年度は、栃木県の農業農村整備事業についてということで、

① 河内農業振興事務所管内

「西鬼怒川地区」（河内町）

県営農村自然環境整備事業
生態系保全型水田整備推進事業
宇都宮市農林公園
「ろまんちっく村」（宇都宮市）
農業農村活性化農業構造改善事業（地域活力促進農業構造改善事業）
地域農業基盤確立農業構造改善事業（農村資源活用農業構造改善事業）
「西鬼怒川地区」につきましては、
水と緑のネットワーク現状、生態系の保全対策の方法について、どじょう水路、多自然型護岸、粗石付片斜面式魚道、西下ヶ橋えのき公園、植栽観察路、カエルの移動経路の確

保等といった農業水路や農道の現地状況視察及びグラウンドワーク活動内容等活動センター内で説明後、質疑応答が行われました。住民参加の維持管理活動をしている「西鬼怒川の川に親しむ会」は、平成十五年度田園自然再生活動コンクールにおいて「農村振興局長賞」を受賞しております。現在NPO法人化を検討中だそうです。当支部管内においては、ほ場整備地区内に希少動植物が確認され事業が停滞している状況にありますので、その事業を推進するため今後役立つことと思われます。

「ろまんちっく村」につきましては、農林業の役割の変化に対応した新しい農林業の展開と地域の活性化を図り、合わせて市民の余暇活動の充実に資する整備事業について、交流ゾーンであるろまんちっく広場、フローラードーム、温泉館、地ビール醸造所、宇都宮物産館、青空市・花き販売所等、また体験ゾーンであるクラインガルテン、学習農園・ハーブ農園、体験センター、堆肥プラント等場内視察説明、フローラードーム内の概要説明後、事前に用意しておいた質疑事項にも回答頂きました。お天気も良く入場無料とあって平日にもかかわらず入場者も数多く見られ、

相双支部では、平成十六年十月二十七日～二十八日に相双地方農業土木促進協議会との共催によります農業農村整備事業に関する先進地視察研修を、管内会員の役職員等二十五名参加にて実施致しました。

今年度は、栃木県の農業農村整備事業についてということで、

① 河内農業振興事務所管内

「西鬼怒川地区」（河内町）

県営農村自然環境整備事業
生態系保全型水田整備推進事業
宇都宮市農林公園
「ろまんちっく村」（宇都宮市）
農業農村活性化農業構造改善事業（地域活力促進農業構造改善事業）
地域農業基盤確立農業構造改善事業（農村資源活用農業構造改善事業）
「西鬼怒川地区」につきましては、
水と緑のネットワーク現状、生態系の保全対策の方法について、どじょう水路、多自然型護岸、粗石付片斜面式魚道、西下ヶ橋えのき公園、植栽観察路、カエルの移動経路の確

いわき支部 高木キミ子

福島県土地改良団体職員連絡協議会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。

いわき支部の活動についてお知らせいたします。

今年度の県外視察研修は、平成十

参加者の中にも物産館や青空市・花き販売所等でお土産を購入された方が多かったのではないか。
宿泊先の鬼怒川温泉では、意見交換会でより一層の親睦を深められたことと思います。

私は今回初めて参加させて頂きましたが、現したが、どの視察先でも担当の方々の熱意あふれる懇切丁寧な説明があり、参加者の方々も熱心に質問するなど、とても充実した研修でした。

御一緒して頂きました皆様、いろいろお話をになりまして本当にありがとうございました。
また、当支部では、相双地方土地改良区事務局長連絡協議会の先進地視察研修にも協賛しております。今年度は、平成十六年十一月三十日より十二月一日に新潟県新潟農地事務所管内の地域用水環境整備事業・亀田

町役場の亀田排水路環境整備事業における①直営施工方式について②その後の管理について③現地見学ということで土地改良区事務局長及び職員計八名にて視察研修致しました。
朝、出発後初雪となりましたが、現地では日差しも戻り、排水路の地下化による緑の空間（全長三、一六〇m）亀田排水路公園・なでしこ咲く道とこちらも充実した研修となりました。

会員の皆様には参加することがなかなか難しい状況にあるような感じもございますが、このような研修を通じていろいろな情報を交換することができますし、水土里ネットとしての連携を深めていく上でもたいへん有音義な研修会だと思いますので、ぜひ、また多数のご参加を宜しくお願い申し上げます。

県の河南矢本土地改良区の管内は場整備事業の状況等について、各土地改良区の役職員方々三十八名の参加を戴き研修を行いました。

車中では「ふるさとの水」「農業の担い手をどうするか」のビデオを見、大きな成果があつたものと思います。

内容については、農村整備部長様

より研修資料平成十七年度農林水産予算要求から見る、農業農村整備事業の展開方向について説明があり、そのほか研修地である、河南矢本土地改良区の概要等も併せて説明がありました。

河南矢本土地改良区に到着してから、五野井理事長から改良区の現状について説明があり、特に平成十五年七月二十六日に一日で合わせて、三回の震度六弱、強、弱、の大きな地震があり農業用施設（揚水機場、排水機場、水路等）に被害が発生し单独災害の復旧費（一千六百万円）を共通基本財産より繰り入れ費用に充当した件について説明がありました。

その他担当者の方から土地改良区の組織、事業の状況及びほ場整備における苦労などについて説明を受け充実した研修を終えました。

又、平成十六年十一月二十九日、下記の議題により市担当者・各土地改良区職員の研修会を開催、三十三名の参加があり貴重な研修を受講できました。

*議題

一、新農業水利システム保全事業について

二、農振法と農地法について

三、21世紀土地改良区創造運動の

事例紹介について

四、その他

又、各土地改良区理事長会を、平成十六年十二月二十日開催しました。

*議題

一、農業農村整備事業について

二、意見交換

土地改良区の果たしてきた役割と、今後の地域住民とのかかわり方について

三、その他

以上ですが、いわき支部管内に於いては、農林事務所、農村整備部よ

とても残念なニュースからで申し訳ありません。平成十六年一月二十日に前県北支部職員宍戸成子様（六十七才）がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■平成十六年開催済事業

①平成十六年一月二十二日(木)

県北管内土地改良区女性職員会議、女性の集い

福島ビューホテルにて
参加者：佐藤昭郎参議院議員他十

七名

②平成十六年一月二十三日(金)

県北管内土地改良区役員・職員・市町村担当職員研修会

ホリデイホテル福島グリーンパレスにて

参加者：県北農林事務所長外

③平成十六年一月十九日(木)

県北支部第四十五回通常総会
土地改良会館にて

参加者：県北農林事務所長外三十
三名

④平成十六年十一月四・五日(木・金)
県外先進地視察研修

り多大なご指導、御尽力を戴き、会員の皆様にはご協力を得、毎年充実した研修を行つております。

又、二月初めには一年の締めとして、支部総会を開催し年間行事を決定する予定です。



県北支部 渡辺洋子

宮城県迫地方振興事務所管内
参加者：県北農林事務所農村整備
部主任主査外十八名

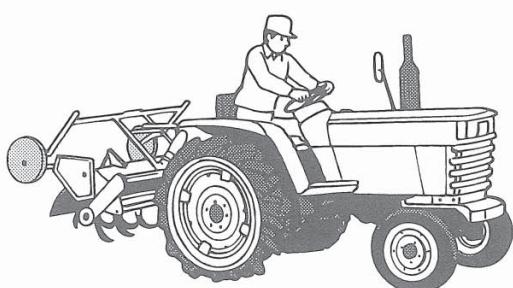
⑤平成十六年十二月十七・十八日
(金・土)

県北方部土地改良区職員研修会
(職連協賛)

白沢村管内(安達疏水土改区当番)

参加者：白沢村長外二十一名

☆平成十六年は「災」の年でしたが、今年は良い年になりますようお祈り申し上げます。



永年勤続

「誰が勝手にやつたの!!」

水土里ネット福島
遊佐ゆきえ

近年「自然や環境との調和」という事で、ついぶん見直され始めている土地改良ですが、この言葉を聞くと必ず思い出すことがあります。私の住んでいる地域も「福島北部地区」として土地改良が進んでおり完了まであと少しのようです。ステップの冷めない距離にある主人の実家も地権者の一人になっています。

工事が始まった当初、現在十八才になる息子（当時は小学三年）が血相を変えて私の帰りを待ち構えたかのように「誰が勝手にやつたの!!」：私は何の事やらさっぱりわからず？よくよく話を聞いてみますとその日、家の裏の水路にU字溝が埋設されたのを息子は一早く察知してその質問

に到ったようです。今までは土側溝でしたので子供達は、ペットボトルを細工して仕掛けを作り「どじょう、ふな、めだか、ザリガニ」獲りなど夢中になつて群れて遊んでおりました。ところが、それが壊されたと私に切に訴えるのです。

「魚が住めなくなるよ！誰に断つてやつてるの？僕たちに聞いたの？」の問い合わせ私も参りましたが、さてどうやってこの子に説明して良いものやら苦慮し、言葉を選びつつ私は、私もその仕事の一端を担つている事から始まり、農家の皆さんが出事をしやすくなる事、そしてたくさん収益が出るようになるとお話しを並べたて、集団化については絵に描いて説明した記憶があります。その時は、自分の仕事でもある土地改良を少しでも良く思われたくて、メリットだけを誇張して話しました（まるで誰かみたいに）。息子は「じいちゃんやばあちゃんが楽になる」という言葉を信じて、それ以降は水路の事は一言も言いませんでしたが、時折うらめしそうにU字溝の中を眺めては、魚の姿を探し求めていた様子が忘れられません。

こんな身近な所に小さな反対者がいる事に気が付かされた日でした。

あの時私が息子に説明したように農家の生活が楽になつてているのかと問われたら…。

先日相続の聞き取りで地元におじやました時「米の値段は下がる一方で負担金を払うのさえも大変だ。農業を継ぐ人もいない」を腰を曲げたおばあさん（農業現役）がこぼしておりました。私は返事に詰まりました。

こんな時代だからこそ視点を変え後生に繋がるしつかりとした地盤創りは必要なのではないかと自分に言い聞かせながら換地の仕事に勤しました。

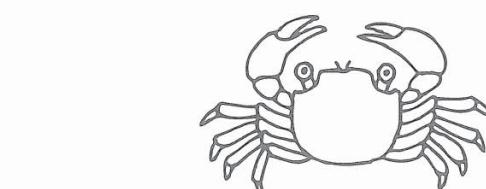
でいるこの頃ですが、何か良い政策はないものでしょうか。

顧みますれば、昭和五十九年八月一日付けで磐梯西部土地改良区の職員として採用されてから、あつとう間の二十年の月日が過ぎ去り、無我夢中で仕事に携わってきた数々の苦労や喜びが思い出されます。

このたびの、第一二十八回職連協総会において「勤続一十年」の表彰をいただきましてありがとうございます。

会務事務を任せられ、さらに、聞き慣れない換地事務など専門用語に驚き、理解するのに大変苦労したことが昨日のような気がします。そしてまた、現地に駆り出され測量の助手や地力増進事業のそば蒔き等を体験し、農家の苦労を肌で感じたことが思い出として心に残っています。

また、苦労の中には喜びがあると



農業・農村の中の
土地改良区

磐梯西部土地改良区
加藤よね子

いわれていますが、土地改良区が主催となつて「磐梯新そば祭り」を第八回まで開催し、これが今でも観光協会の手によって引継ぎ継続されていることは、苦労した甲斐があつたと喜びと誇りとしています。

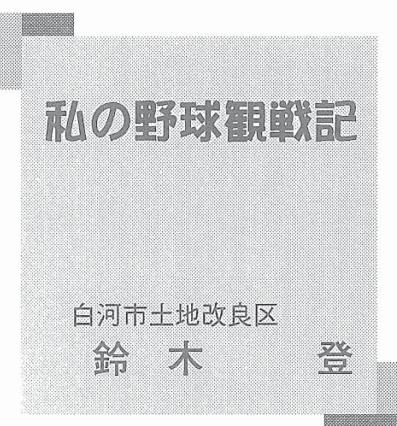
平成十五年四月一日からは、大先輩である事務局長が退職され、職員一人となり不安の中、事務の全てが私の肩に重くのしかかり、あれもこれもと慌ただしく仕事に追われる日々となりました。

いま、土地改良区の仕事はハード事業が完了し、償還事務や維持管理事業など外からはなかなか見えにくい仕事となり、組織の存在感が片隅に追いやられようとしています。しかし、土地改良事業の初期の目的は、農家の所得向上に寄与するための生産基盤の事業から、厳しい農業環境の中での生産支援のソフト事業で農業を支えることが大切だと思います。

最後になりますが、いま全国各地で展開している創造事業は、新たな土地改良区の事業ではないでしようか。地域に根ざした特色ある創造事業を興し、組合員とともに希望の持てる農村造りを創造したいと思います。

会員皆さんのご健勝とますますの

ご活躍を祈念するとともに職達協のますますの発展をお祈りいたします。



時間の経過は早いもので入区してから三十年・この機会に私にとって縁の切れない野球はストレス解消の一環でもあり、仙台に本拠地を置く東北楽天ゴールデンイーグルスの活躍を願いつつ野球の思い出をつづらせていただきました。

私が初めてプロ野球を生で観戦したのは、確か昭和四十四年四月だったと記憶しております。球場は東京

南千住にあった東京オリオング（現・ロッテオリオング）の本拠地・東京球場で開幕二、三戦（当時はWヘルツダ）、オリオング監督は濃人涉・ピッチャーレは成田・小山・木樽・又、外人はアルトマン・ロペスを要し、相手は南海ホークスで監督兼キャッチャーレはマスクをかぶっていたのが、野村克也である。

高校卒業して間もない私が見た、

この試合の三戦目のプレー（盗塁）は今になつても感動的であり、現在FAを取得し大リーグへ続出する選手、さらには本場大リーグで年間最多安打二六二本を記録したイチロー

・日本へカムバックした新庄の時代に水を差す様な話でございますが、巨人・大鵬・卵焼きの時代に弱者を応援した隠れプロ野球ファンとしての思い出でございます。

東京オリンピックが開催されたのが昭和三十九年、このオリンピック陸上一〇〇mの日本代表が飯島選手で、スタートのロケット走法は世界一と報道されたものであり、昭和四十四年陸上界から球界に転進、代走専門として東京オリオングへ入団しプロ野球の人気高騰の一役買つた年でございました。

この三戦目に飯島選手が球界に入

つて初代走にコールされると、球場全体が歓声につつまれコーチのアドバイスを傾けながらおもむろに手袋をつけファーストベースへ、幾度のけん制をかいくぐりロケットスター、キャッチャーレ（野村）のセカンド悪送球を誘い一挙にサードへ、この数秒間のドラマが私に感動と興奮を与え現在になつても瞼に焼き付いております。

幾度もキャンプで鍛錬していることはいえ、プレッシャーの中デビューウー戦におけるたかが墨間二七・四三mはどんな距離に値したのであるか。

又、私の野球観戦の楽しみは真夏の球宴都市対抗がある。現在は企業チームが解散・休部に追い込まれ、

本県においてもヨークベニマルの解散は残念であり、私もクラブチームの一員として打倒ヨークベニマルに汗を流した時代もございました。

この都市対抗を私が観戦するのは主に準々決勝で、八時三〇分の試合開始に合わせ、自宅を朝五時に出発し東京ドームのある国電水道橋駅には七時三〇分頃に到着、バックネット裏最前列に陣取りメンバーリストを見に、試合開始前のシートノックを片手に、試合開始前のシートノックを見るのが楽しみで、肩の良さ・グロ

ープ捌き・ノッカーの的確さに感心し、ビールを片手にドラフト候補選手のプレーを追い続けました。

更に、ドームで飲むビールの味は格別で大歓声の中にもかかわらず瞼が仲良くなり、試合よりも睡魔に襲われたことも度々、是非東北にもドーム建設を願うものであります。

この都市対抗での思い出は、平成元年（第六十回大会）現大リーガー

でトルネード投法の野茂英雄（新日鉄堺）から佐藤真一（現ヤクルト・拓銀から大昭和製紙に補強）が放つた起死回生の一発が脳裏に浮かび、

ドラマを感じさせる一打であつたと記憶しております。

更に高校野球甲子園球場にも独特の雰囲気がある話しを聞き、福島空港を飛び立った。夏の大会、桐生一高が正田投手（現日本ハム）を有し

全国制覇した時の準々決勝でバックネット裏は満席のため、内野席に入つたところ球場の明るさが画面で見るより鮮明に写ったのが第一印象でございました。この球場で校歌を歌った霧雨気が人気のパロメーターでう感激は何事にも変えがたい財産であるとしみじみ感じ、郷土愛にあふれた霧雨気が人気のパロメーターであり一球一打の歓声に酔いしれた甲子園でございました。

各試合を観戦し、解説者ごとく批判をしておるところであります。これが私のストレス解消の一環であり、最後に私の夢は東京ドームで都市対抗十一日間全試合を観戦すること、二月のプロ野球キャンプ地十二球団を視察すること、こんなことを頭におきながら日々の仕事に頑張つておるところでございます。



20年を迎えて

遠野土地改良区
猪狩加代子

永年勤続二十年の表彰を頂きありがとうございました。もう、二十年が経つたのだと自分自身びっくりしています。土地改良区に入つた頃を想い出すたび、言葉一つ一つが新鮮で何をするにも若さで乗り切つてきました様に思われます。今は、どうなのかと問い合わせても、今では、年相応のずうずうしさがしつかり身についてしまつた様です。これではいけないと思つてはいても、「いつかは、必ず解決する精神」が積み重なつて今の私があると思います。失敗は、若さゆえ許してもらえる時期がありましたが、今、許してもらおうとしてもそれは、許してもらえる年ではなくなつたとしみじみ思う今日この頃です。これが二十年の歳月ですね。この仕事をして私が成長出来たのは、地域の皆さんとの事細かい苦情

や、役員さんの涙の出る様な問題解決の努力、みんな一つになつてどうにかして、相手が思つてゐる事に近づいて、かつ本人だけでなく、まわりの人達も納得出来るほ場整備事業を完了させること、これを実現出来る事が、最大の喜びではないでしょうか。なかなか、現実に実現は出来なかつたですが、いつかきっとわかつてもらえる時期が必ず来ると思ひます。みんなそれに、生活をしなれば誰だつて、笑顔になるし、体力を使わなくとも機械が動いてくれて、泥まみれにならず、ブランドもののを着てトラクターに乗り、カツコ良く農作業をする。考え方もカツコ良くなればいいのにね。これからも地域の中で、少しでも役にたつていける様、努力していきます。

私は、自分をとりまく方々に、助けられてこれまで仕事を続ける事が出来ました。感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

最後に、土地連職員連絡協議会のますますの御発展をお祈り申し上げます。

ることができるので、どう協力できることか等話をしなければ解からないことは多いと思います。一言で言えばコミュニケーションですが、それが一番大事なのかも知れません。もつと話をして仕事をしていきたいと思います。和も大事だけど話も大事に！

5歳を迎えて

水土里ネット福島
諸隈敏郎

人生の転機は三度あるという。振り返つてみると歳を迎えるたびに転換期があつたように思う。これまで振り返り、改めて五歳を迎えて抱負を考えてみたい。

早いものでサラリーマン生活は残り三分の一。競馬では第四コーナーを回つてラストスパートとなるところであるが、生命的限界を一三〇年とすれば、安全率〇・七を乗じても九〇歳、ようやく人生の半ばに達したところである。

就職したころは一級建築士さえ取れば何となると思っていた。社会に出てみればそれは足裏のご飯粒のようなものである。二十四歳まで大学で農村を通じて建築学を学び、三十六歳まで農用地開発公団（現緑資源機構）で草地開発事業における農業施設整備及び海外農業開発を担当、

その後土地連で集落排水事業による処理施設の実施を担当、建築学と農業工学の境界領域で現実的課題に相変わらず葛藤している。

汚水処理施設は「計画・設計・施工・監理・維持管理・農地循環・環境保全」と一連のライフサイクルの中で、幅広い分野の専門家が携わっている。小生も少しでも近づくべく設計・工事施工資格・管理資格等の取得拡大を通じ、領域の拡大を図ってきた。これらはいまだ残念ながら小生の頭の中では散在する点である。それぞれの点を有機的な線としてつなぎ、点から線、線から面と転換すべく枝葉を養わなければならない。

最近、若者の理系離れがいわれている。我々工学に携わるものは、工学の魅力・役割を社会に十分説明していないような気がする

よりよき展開へ向けて、技術の向上はもとより、基礎となる法律を勉強し、権利義務・知的財産権等法学的知識、経営・会計、社会学等的センスに理解を深め、技術との総合化により、個を強くアピールする能力が求められている。

時代の要請に応えるべくプロジェクトをスパークライズし、有機的展開を図り、社会・地球に還元していく

ことを求めたい。粗大ゴミとならぬよう人生の半世紀を全うしたいものである。

最後に十七回となる吾妻山での「森」をテーマとした個展を持続し、雄大な山河と向き合い、自然を後世に継承すべく恩返しをしていきたい。





韓国を旅して

社川沿岸土地改良区 緑川源治

年男の今年の抱負を。と寄稿の御依頼があり、題材を何にしようか悩みました。が、先月、韓国に行つたことをお話ししたいと思います。日本は今、空前の韓国ブーム。特に韓国の俳優ペ・ヨンジュン人気によるヨン様ツアーナるもので、日本人女性の観光客が激増しています。一昔は近くて遠い国という印象がありますが、今では二〇〇二年の日韓ワールドカップ開催を機に交流も深まっています。さて韓国には十二月三日～五日の二泊三日で行つて来ました。出発したのは金曜日だったので飛行機は満席。韓国人気を実感しました。インチョン国際空港までは約二時間半。ソウル市内までバスで約一時間です。

まず驚いたのは空港の大きさです。世界一の国際空港を目指していると聞き、現在完成しているだけでも、

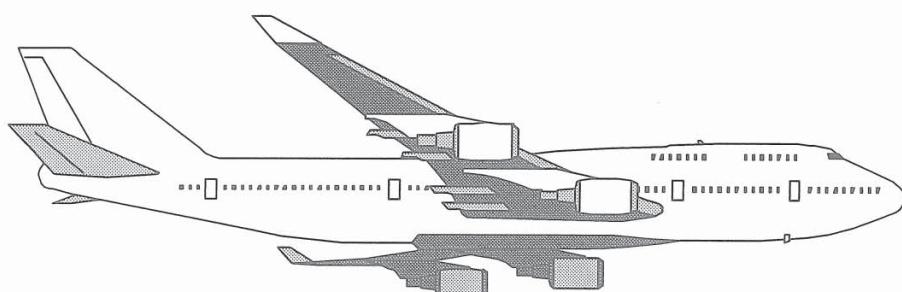
年男の今年の抱負を。と寄稿の御依頼があり、題材を何にしようか悩みました。が、先月、韓国に行つたことをお話ししたいと思います。日本は今、空前の韓国ブーム。特に韓国の俳優ペ・ヨンジュン人気によるヨン様ツアーナるもので、日本人女性の観光客が激増しています。一昔は近くて遠い国という印象がありますが、今では二〇〇二年の日韓ワールドカップ開催を機に交流も深まっています。さて韓国には十二月三日～五日の二泊三日で行つて来ました。出発したのは金曜日だったので飛行機は満席。韓国人気を実感しました。インチョン国際空港までは約二時間半。ソウル市内までバスで約一時間です。

成田空港と同じ規模です。道路の広さにも驚きました。片側三車線は当たり前で、片側六車線のところもあり、国土は日本より狭いですけど、道路が広い分、広大さを感じました。韓国の人団は約四、五〇〇万人。その内一、三〇〇万人が首都ソウルとその近郊に住んでいます。ソウルの街を歩いていても、言葉にはほとんど不自由しませんでした。どこでも日本語が通じるのです。これが韓国の人人が福島に観光に来て、はたして私たち、韓国語で接することが出来るかどうかと不安になりました。

福島は知っているが、福島は知らぬといいう韓国人もいました。福島県の良さを、どんどん韓国にアピール出来れば良いのかなと思いました。日韓の交流が一時的なブームで終わらないで、これからも良い関係が続くことを願いたいと思います。

印象的だったのは、道路を走つていると、あちらこちらにコンクリートのガードを通過しました。これは有事の際に備えて、爆破すると道路を封鎖し、敵の侵入を遅らせる為だそうです。朝鮮半島は一つで、同じ民族にも関わらず北と南で歴史的に対立しています。今回北緯三十八度線にある板門店を見学しましたが、その国境付近を目の当たりにして、緊張している南北関係を実感しました。

板門店を観光するには、服装の制限や当然パスポートチェック、行動に至るまで厳しく制限されました。今の韓国の子供たちは昔と違つて考え方も一八〇度変わり、北朝鮮の子供たちと早く仲良くしたいと願う書き込みが、国境付近に布に書いて巻き付けてありました。平和を願う気持ち、皆同じだと実感しました。自分自身、考えさせられる事が多かつたです。今年一年の平和を願わずにはいられません。また韓国に行つてみたいと思う良い旅でした。



「二十年間を振り返つて」

柳津町土地改良区 小島貞彦

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昭和五十九年五月に土地改良区へ入り、早二十年が過ぎました。その頃は土地改良事業最盛期で職員も三名、町農林課の兼務者も三名外に臨時職員と活気がありました。現在は町からの応援もいただいていますが、職員は一名になつてしましました。

ハード事業が完了し維持管理、償還事務が中心となつた当然の結果かも知れません。

土地改良区に入る前は、会津若松市内の測量会社に六年ほど勤務していました。

改良区へ勤めて間もない頃は、始めて聞く専門用語に、戸惑つた事が思いだされます。

一番先に担当した場所が自分の生まれた地区でした。「担当は別の地区がいいな」と正直思いました。地区説明会、現場業務など常に先輩と一緒に毎日でした。その当時を振り返ると自分の忙しい仕事もありがながら、

ご指導いただいた先輩方に改めて、感謝の気持ちでいっぱいになります。

また、二十年前に「みちのく荘」で開催された初任者実務研修は四泊五日の日程でしたが、県内全域から参加者との出会いと、懇親会が非常に良い思い出になつています。外に支部研修、県外研修、土地改良区職員が年に一回一同に会する職員連絡協議会総会、研修会など有意義な研修、会議は今後も極力参加していきたいと思います。

誰でも仕事をして給料をもらつている以上、楽しいことばかりではないと思います。むしろいやなことのほうが多いかも知れません。

一番大変だったことは（私よりも地区の役員の方たち）、ある地区的工事がほぼ完成し最終配分を前提とした一時利用地指定の配分が決まり、毎晩毎晩何日も役員会、換地委員会などいつ終わるとも無く会議、作業を行つていたことかなと、今思い出されます（どこ）の土地改良区さ

んも同じだと思いますが）。

一番良かったことは、最近聞こえてくる「あの時に整備してよかつたな」という組合員の声です。特に用水のパイプライン化が一番喜ばれています。以前は、代搔きのときなど夜水かけのために車のライトをつけ、朝まで番をしていました。そして朝になると農作業が待つているわけですから、一言では言えない大変さがあつたことと思います。

扱い手育成基盤整備事業をやらなければ、とつ々にかなりの面積が荒れてしまい、その後の事業が全くできなくなつたただろうと。

この地区は現在、整然と区画され、あらゆる事業が完了し、柳津町でもモデル地区のひとつとなりました。今後も組合員の少しでも喜ぶ顔を思い浮かべながら仕事に携わつていきたいと思います。つたない思い出話になつてしましましたが、会員皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

電線改修など etc。



私は、土地連に入会し三十年が過ぎようとしています。今年が、年男（四十八歳）となりました。人生半ば四十五歳にして福島大学（経済学部三年在学中）に入学し、青年たちとともにに人生の新たな希望と夢に向かって、楽しい日々を送つております。職場の方々や家族には、暖かい励ましの声を掛けていただき、心より感謝しているところであります。

昨年は、自然災害に見舞われた年と言つても過言ではなく、日本列島を台風が十個も直撃し、さらには、「一〇・一三新潟県中越地震災害」が発生し、四十名の死者と十万人を越える被災者を出しました。私たちの職場にも、新潟県土地連より災害復旧技術派遣依頼があり、私は参加したいと思い手を挙げました。平成十六年十一月二十日～十二月二十五日（三十六日間）の前期三名（安田明氏、松浦孝義氏、杉内貴紀氏）と後期三名（渡辺隆氏、牛坂誠一氏、私）

私は、土地連に入会し三十年が過ぎようとしています。今年が、年男（四十八歳）となりました。人生半ば四十五歳にして福島大学（経済学

が派遣となり、山形県三名、秋田県二名と宿を共にし、信濃川左岸土地改良区（管理受益地約四、五〇〇ha）の支援をいたしました。

福島県土地連担当は、小千谷市、越路町、三島町の被災農業施設四十地区（国営幹線用水一地区、県営用水路四地区、小排水路三十五地区）の調査、設計業務を遂行することが出来ました。この間、他県の仲間や土地改良区の方々との心のふれ合いができた一生の思い出を創ることも出来ました。あらためて、感謝を申し上げます。

国の査定及び被災された地域の復興はこれからであり、木目の細かいフォローがこれからは、必要です。少しでも早い復興がかないますよう祈るばかりです。

また、昨年末には、考えも及ばないインド洋大津波の被害も伝えられ自然の猛威には驚くばかりで、犠牲者が数十万人に達するとのことで、犠被災された国々の人々が少しでも早

「今、自分ができることは……」

水土里ネット福島 高野久夫

く復旧、復興できるよう、できるごとから支援協力したいものです。
最後になりましたが、この間、土地連に対するご理解とご協力に対し

て感謝を申し上げます。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



10.23 新潟県中越災害支援メンバー

雑感

三和土地改良区 大島初子

今年は西年、四回目の年女になる。
そして就職して三十年、長いようで
短かった。

高校を卒業して、土地改良区に採用されたが何もわからず、聞きなれない言葉・用語に、四苦八苦しながらも無我夢中で仕事をしてきました。いつも提出物は期限ギリギリ、もしくは、時が過ぎ催促されることしばしば、皆さんにご迷惑かけつつがんばっています。これからも宜しくお願ひいたします。

さて、私事ではありますが、二年連れ添つた夫が二年前に倒れ、左半身不随になりハビリに通う毎日を過ごす中、健康でいる時には夫婦で出かけたり、ゆっくり話をしたりなどなく、話をするのも一言二言、だけ、それも帰りには膨れつ面で、一人で出かければ良かつたと思つていたが、今、車を運転しない夫を連れ買い物など（特に気分転換と称しパチンコにも、これは時々するなら

おもしろい）、一緒に出かけるこの頃、私も夫も少しは気を使ってか、けんかをしなくなり、些細なことも話をするようになつてきた。子どもたちも今までならお父さんなんてなどと思つていたようだが、この頃ちょっとしたことでも気にかけてくれる思いいやりが出てきたようで嬉しくなつてくる。

これからは、夫婦で何でも話し、何処へでも出かけていきたいと思つています。

思いつくまま取りとめもないことを書きましたが、これからも、仕事をがんばっていきたいと思つています。



“農業農村整備事業に関する業務は 水土里ネット福島がお手伝い”

土地改良事業を行う会員の協同組織である県土地連は、土地改良事業の適切、かつ、効率的な運営の確保及びその共同の利益を増進することを目的とし、誠心誠意をもって、次に掲げる事業をお手伝いしております。

1. 技術的援助

- (1) 測量調査設計 (2) 実施・変更・出来型設計及び施工管理 (3) 確定測量
- (4) 換地計画及び登記申請書作成等の受託

2. 相談及び指導

- (1) 土地改良事業に関する相談及び農業基盤整備資金に関する指導
- (2) 土地改良管理指導センター
 - ・土地改良施設の管理に関する技術的な診断、指導
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業に関する助言、指導
- (3) 換地センター
 - ・土地改良事業に関する換地事務の推進
- (4) 農村総合整備センター
 - ・農村総合整備事業の啓蒙普及及び技術の向上、指導

3. 電算処理

- (1) 土地改良事業工事費積算業務 (2) 換地業務設計及び経費積算 (3) 確定測量業務
- (4) 水文 (5) 水収支 (6) 土地改良区の賦課業務 (7) 各種土量計算



人・物・情報のネットワークづくり

みどり
水土里ネット福島

(福島県土地改良事業団体連合会)

会長 佐藤栄佐久

〒 960-8502 福島市南中央三丁目36番地
TEL 福島 (024) 535-0371 (代表)
FAX 福島 (024) 535-1200 (代表)
ホームページアドレス <http://www.midorinet-fukushima.jp>